



2024年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 BEENOS株式会社

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <https://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典

TEL 03-6859-3328

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	7,927	13.6	49	93.6	31		25	93.6
2023年9月期第1四半期	6,975	2.3	764	830.3	588		398	

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 318百万円 (%) 2023年9月期第1四半期 4,808百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	2.13	2.08
2023年9月期第1四半期	32.28	30.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第1四半期	27,713	12,401	43.9	1,008.69
2023年9月期	27,911	13,010	45.8	1,060.34

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 12,179百万円 2023年9月期 12,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期		0.00		27.00	27.00
2024年9月期(予想)		0.00		27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,620	3.4	2,830	37.1	2,400	40.8	1,560	29.0	128.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、P5(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	12,876,995 株	2023年9月期	12,876,995 株
期末自己株式数	2024年9月期1Q	802,904 株	2023年9月期	814,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	12,070,562 株	2023年9月期1Q	12,351,316 株

(注)信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)の導入により、期末自己株式数には、BEENOS従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております(2023年9月期 8,300株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、テクノロジーの力とこれまでに培ったグローバルコマースの知見をいかし、人・モノ・情報とグローバルコマース市場を繋ぎ、新しい常識や可能性を提供し続ける「グローバルプラットフォーム」を目指してまいります。

今期は各事業領域において「グローバルコマース：AIを用いたBuyeeサービスの改善とオペレーションコストの低減、積極的なプロモーション展開による流通拡大」、「バリューサイクル：新規買取店舗の出店と、データを用いた適正価格での買取と販売の実施による利益率の改善」、「エンターテインメント：オペレーションのシステム化（自動化）を進めることによる利益率の改善」をそれぞれ目指しております。

当第1四半期連結累計期間においては、Eコマース事業においては、グローバルコマース部門は、費用対効果の高いキャンペーンを積極的に実施することで流通総額の増加と利益率の改善を図り、バリューサイクル部門は、買取店舗の新規出店を進めながらマーケティング施策や接客品質向上によるリピーター獲得等で買取高が増加しました。また、エンターテインメント部門は、Groobee（グルービー）での新規取扱アーティストの獲得を進めるとともに社内オペレーション体制のシステム化に注力しました。インキュベーション事業においては、営業投資有価証券の売却はなく、営業投資有価証券の評価による引当及び減損が発生しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の流通総額（国内外における商品流通額）につきましては28,770百万円（前年同期比25.6%増）、売上高は7,927百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は49百万円（前年同期比93.6%減）、経常損失は31百万円（前年同期は経常利益588百万円）親会社株主に帰属する四半期純利益は25百万円（前年同期比93.6%減）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

i) グローバルコマース

「海外転送・購入サポート事業（FROM JAPAN）」におきましては、Buyeeにおいて前期に比べ費用対効果のより高いキャンペーンを積極的に展開したことで、流通総額が伸長するとともに利益率が前第4四半期と比較し改善いたしました。特に、提携しているECサイトや商品カテゴリー毎の商品金額の割引などのキャンペーンが奏功し流通拡大に寄与しました。また、Buyeeサイトの読み込み速度の改善、AIを用いた検索機能の拡充などのUI/UX改善を行いユーザーの利便性向上に努めるとともに、オペレーションコストやサーバー費用の低減施策を実施し、流通総額対比の営業利益率をより意識した経営を行いました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、リピーター向けのキャンペーンや、SEO対策をはじめとしたマーケティングの強化により流通の拡大を図りましたが、引き続き為替が円安傾向であったことが影響し、ユーザーの需要が低下している状況が続きました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の流通総額は21,309百万円（前年同期比28.7%増）、売上高は3,380百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は976百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

ii) バリューサイクル

「ブランド・アパレル買取販売事業」におきましては、買取面では、ハイブランド商品など高価格帯商品の取扱いを強化するため買取専門店「ブランディア」の出店を進め、2023年12月に「中野南口駅前店」をオープンし、首都圏で9店舗、全国で16店舗となりました。中野南口駅前店ではブランド品の買取だけではなくBEENOSグループのシナジーを活かし酒類の買取も実施しています。また、SEOやMEOといったマーケティング施策や店頭接客の改善などの効果によりリピーター顧客が増加し、買取額の増加に寄与した結果、四半期ベースでは過去最高の買取額となりました。

販売面では、前期からの好調な買取を背景とした、潤沢な販売在庫をもとに積極的な販売を行い売上高が伸長しました。特に自社販路での販売が好調で、高級ブランドバッグや高級腕時計といった高単価商品の売上が全体を牽引しました。一方で営業利益面では、一部の高価格帯商品における相場の下落傾向を考慮し、在庫の回転期間を意識して、買取時に想定していた予定販売価格未満での販売を実施したことなどにより粗利率が低下しました。

「酒類の買取販売事業」におきましては、買取高の一層の伸長のために各種買取キャンペーンを実施した結果、国産ウイスキーやワインといった主力商材の買取が増え、全体の買取高が向上しました。

販売面では買取が好調だったウイスキーとワインの販売が好調で全体を牽引しました。特に国産ウイスキーは相場の上昇による市場環境の変化がありましたが、価格設定を随時見直すことによる適正価格での販売に努めた結果、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の流通総額は4,116百万円（前年同期比25.5%増）、売上高は4,181百万円（前年同期比26.3%増）、営業損失は117百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

iii) エンターテインメント

「エンターテインメント事業」におきましては、当社の取り扱うアーティストにおいて公演や季節に合わせたイベント等が実施されたことでグッズ売上やCD販売が順調に推移し、流通総額が増加しました。

エンターテインメント業界向けに特化したECプラットフォーム「Groobee（グルービー）」は、当第1四半期に新たに人気アーティスト“Ado”のツアーグッズなどの販売を行う公式オンラインストアや、人気アニメ“夏目友人帳”のショッピングサイトの制作・運営サポートを開始するなど、導入企業が順調に増加しております。また、導入企業の増加に伴う社内オペレーションの負荷増大を低減するために、各オペレーションのシステム化の開発を進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の流通総額は3,189百万円（前年同期比14.8%増）、売上高は330百万円（前年同期比3.8%増）、営業損失は39百万円（前年同期は営業損失39百万円）となりました。

Eコマース事業全体では、当第1四半期連結累計期間の流通総額は28,603百万円（前年同期比26.5%増）、売上高は7,892百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は818百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

② インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、当第1四半期に一部の投資先企業の評価の引き下げ等により減損損失が発生しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は一百万円（前年同期は売上高262百万円）、営業損失は221百万円（前年同期は営業利益209百万円）となりました。

③ その他事業

海外の大手マーケットプレイスへの日本企業の出店を支援する「越境EC支援事業」につきましては、引き続き“Shopee”や“eBay”などの海外マーケットプレイスへの出店、カスタマーサポート、海外配送対応、決済対応など幅広いサービスをワンストップで提供しており、昨年よりトレーディングカード専門フリーマーケットサイト“magi”のeBay自動連携のサポートを開始しました。

海外人材雇用をテクノロジーで支援するSaaS型越境HRプラットフォーム事業につきましては、特定技能の支援業務管理システム「Linkus」が当第1四半期に飲食店運営企業等に導入されました。また、特定技能外国人の雇用拡大を背景に、新規登録が増加している登録支援機関向けのコンサルティングサービスを拡充しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の流通総額は213百万円（前年同期比42.2%減）、売上高は173百万円（前年同期比8.4%減）、営業損失は264百万円（前年同期は営業損失224百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(i) 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ197百万円減少し、27,713百万円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が22,598百万円となり、前連結会計年度末と比べ134百万円の減少となりました。その主な要因は、未収消費税等1,235百万円、未収入金779百万円の増加、現金及び預金1,947百万円、受取手形及び売掛金429百万円の減少であります。

また、固定資産合計は、5,115百万円となり、前連結会計年度末と比べ63百万円の減少となりました。その主な要

因は、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)終了に伴うその他固定資産119百万円、投資有価証券91百万円の減少、繰延税金資産109百万円の増加であります。

(ii) 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ410万円増加し、15,311百万円となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が14,819百万円となり、前連結会計年度末と比べ759百万円の増加となりました。その主な要因は、預り金722百万円の増加であります。

一方、固定負債合計は、492百万円となり、前連結会計年度末と比べ349百万円の減少となりました。その主な要因は、繰延税金負債279百万円、長期借入金75百万円の減少であります。

(iii) 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ608百万円減少し、12,401百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定306百万円、利益剰余金300百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月7日に決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。セグメント毎の内訳については下表のとおりです。

	Eコマース事業				インキュベーション事業	その他事業	連結調整額	連結
	グローバルコマース	バリューサイクル	エンターテインメント	小計				
流通総額	835.0億円	167.0億円	154.0億円	1,156.0億円		21.0億円	▲2.0億円	1,175.0億円
前期比	18.1%増	12.2%増	6.7%増	15.6%増		88.4%増	-	16.6%増
売上高	139.0億円	167.0億円	16.6億円	322.6億円	3.5億円	15.9億円	▲5.8億円	336.2億円
前期比	15.0%増	11.1%増	14.0%増	12.9%増	90.4%減	118.6%増	-	3.4%増
セグメント利益	41.8億円	3.2億円	0.7億円	45.7億円	0.0億円	▲7.1億円	▲10.3億円	28.3億円
前期比	14.1%増	-	-	30.4%増	100.0%減	-	-	37.1%減
(参考)前期実績								
流通総額	706.8億円	148.8億円	144.3億円	999.6億円	-	11.1億円	▲4.0億円	1,007.5億円
売上高	120.8億円	150.3億円	14.5億円	285.7億円	37.0億円	7.2億円	▲5.0億円	325.0億円
セグメント利益	36.6億円	▲0.5億円	▲1.0億円	35.0億円	29.7億円	▲10.1億円	▲9.5億円	45.0億円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,648	8,701
受取手形及び売掛金	1,367	938
営業投資有価証券	3,998	3,680
商品	2,650	2,857
未収入金	1,211	1,991
未収消費税等	1,611	2,847
その他	1,317	1,654
貸倒引当金	△73	△72
流動資産合計	22,733	22,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	783	804
減価償却累計額	△439	△449
建物及び構築物(純額)	344	354
工具、器具及び備品	271	280
減価償却累計額	△196	△204
工具、器具及び備品(純額)	75	75
その他	42	42
減価償却累計額	△19	△20
その他(純額)	22	21
有形固定資産合計	442	452
無形固定資産		
ソフトウェア	297	319
その他	0	0
無形固定資産合計	297	319
投資その他の資産		
投資有価証券	2,983	2,892
繰延税金資産	910	1,019
その他	544	431
投資その他の資産合計	4,438	4,343
固定資産合計	5,178	5,115
資産合計	27,911	27,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54	40
短期借入金	4,250	4,250
1年内返済予定の長期借入金	647	400
未払金	6,822	7,053
預り金	996	1,719
未払法人税等	254	386
その他	1,034	970
流動負債合計	14,060	14,819
固定負債		
長期借入金	300	225
繰延税金負債	295	15
資産除去債務	223	228
その他	22	22
固定負債合計	841	492
負債合計	14,901	15,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775	2,775
資本剰余金	2,954	2,953
利益剰余金	7,256	6,956
自己株式	△1,566	△1,531
株主資本合計	11,421	11,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△215	△253
為替換算調整勘定	1,584	1,278
その他の包括利益累計額合計	1,368	1,024
新株予約権	220	222
純資産合計	13,010	12,401
負債純資産合計	27,911	27,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)
売上高	6,975	7,927
売上原価	3,460	4,910
売上総利益	3,514	3,016
販売費及び一般管理費	2,750	2,967
営業利益	764	49
営業外収益		
受取利息	1	2
投資事業組合運用益	—	0
受取保証料	4	3
その他	8	10
営業外収益合計	14	15
営業外費用		
支払利息	4	3
持分法による投資損失	42	11
為替差損	142	74
支払手数料	0	—
投資事業組合運用損	1	—
その他	0	6
営業外費用合計	190	96
経常利益又は経常損失(△)	588	△31
特別利益		
新株予約権戻入益	2	0
特別利益合計	2	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	591	△31
法人税、住民税及び事業税	201	348
法人税等調整額	△9	△405
法人税等合計	192	△56
四半期純利益	398	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	398	25

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	398	25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,843	△37
為替換算調整勘定	△348	△298
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△8
その他の包括利益合計	△5,207	△343
四半期包括利益	△4,808	△318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,808	△318
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	2,994	3,289	318	6,601	—	110	6,712	—	6,712
その他の収 益(注) 1	—	—	—	—	262	—	262	—	262
外部顧客へ の売上高	2,994	3,289	318	6,601	262	110	6,975	—	6,975
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	7	22	0	30	—	78	109	△109	—
計	3,002	3,311	318	6,632	262	189	7,084	△109	6,975
セグメント利 益又は損失 (△)	1,021	13	△39	995	209	△224	980	△216	764

(注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△216百万円には、セグメント間取引の消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益84百万円及び全社費用△288百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	3,375	4,148	330	7,853	—	73	7,927	—	7,927
その他の収 益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客へ の売上高	3,375	4,148	330	7,853	—	73	7,927	—	7,927
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	4	33	0	38	—	100	138	△138	—
計	3,380	4,181	330	7,892	—	173	8,065	△138	7,927
セグメント利 益又は損失 (△)	976	△117	△39	818	△221	△264	332	△283	49

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△283百万円には、セグメント間取引の消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益83百万円及び全社費用△365百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。